

# NEWSLETTER

～中法 日本東洋医学系物理療法学会・日本鍼灸手技療法教育研究会にて相次いで報告～

**我が国で唯一、あま指領域の文科省登録学術団体である日本東洋医学系物理療法学会、全国の鍼灸手技療法教育者の学術団体、日本鍼灸手技療法教育研究会にてマッサージスコア®リーダーシステムを用いた報告がなされた。**

マッサージスコア®リーダーシステムを用いた学術発表が秋の学会シーズンに相次いでなされた。10月12日、幕張の東京ベイ幕張において開催された中間法人 日本東洋医学系物理療法学会（白島庸会長）第34回学術大会においては、「統合医療領域におけるあんま施術の面圧評価-疼痛感受面圧と「心地よい」面圧の関係」と題し、弊社社長でもある長谷川尚哉と柳川政道氏の共同研究が発表された。

あんまマッサージ指圧などの施術行為を受ける依頼者（クライアント）が感じ取る感覚を統計評価した初の報告となった。クライアントは疼痛を感じ得ず、かつ物足りない感覚ではない施術面圧を希望していることを前提に、男女、年齢の異なるサンプル（n=59）に対して、代表的な3部位（頸部、胸背部、腰部）における持続圧法の施術について疼痛を感じ取る面圧、ちょうど良い面圧を指摘させ、その面圧平均値を統計し、性別、年齢、BMIなどと統計評価したもの。報告によれば、頸部では200kPa～500kPaに被験者の78.95%が、胸背部では400kPa～700kPaに59.6%が、腰部では600kPa～1000kPaに76.2%が分布し、腰部がもっとも強い圧力で疼痛を感受し、続いて胸背部、頸部の順に弱い刺激でも疼痛を感受する結果が報告された。また「心地よい」と感じる面圧は「痛い」と感じる面圧に対して頸部、胸背部では4割、腰部では2割弱い力加減であった。またBMIと疼痛感受面圧は男女とも相関行列における主成分分析において相関が見られた。この報告により、疼痛を感受する力加減は頸部において100kPa以下でも4.3%、胸背部では200kPa以下でも11.36%、腰部では300kPa以下で9.3%という可能性が発生することがわかった。

この報告により、厚労省医制局医事課回答文書（医制医発第1118001号 平成15年1月18日）における「対象者が痛みを感じるほどの相当程度の強さをもって」という面圧の強度がはじめて客観化された。疼痛を感受し得る面圧は分布、分散から見ても施術者が想定できるものではなく、平均値以下の弱い圧力でも疼痛を感受し得る為、施術には口頭を持って確認するなど、注意深い対処が必要である。

**日鍼教における発表では我が国のあまし教育にスタンダードトリートメントモデル（STM）を導入、そのデータ通信によって晴眼者・視覚障害者が共に技術習得出来る音声・画像媒体を共有する提案がなされた。**

1月24日渋谷区の花田学園において開催された日本鍼灸手技療法教育研究会（吉川恵士会長）第6回学術大会においては、「あま指実技指導のモデルコアカリキュラム構築の提案～マッサージスコア®と呼ばれる圧力譜を用いて～」と題し、神奈川衛生学園専門学校より弊社社長の長谷川が発表した。

あま指領域においては19世紀から変化することなく行われてきた技術指導の方法を俯瞰、今後の教育現場での技術指導の標準化を図るために、現在筑波技術大学などが導入しているマッサージスコア®リーダーソフトウェアを全国の学校に導入し、標準術式（スタンダードトリートメントモデル：STM）を面圧データとして配布することで、晴眼者、視覚障害者が共に同一レベルの施術講習を受けることが出来るようにする、という提案。

視覚障害者の施術法指導は指導者が行う手技を、学生が手を添えて覚えるという方法がとられてきた。しかし、マッサージスコア®は面圧の変化を音量変化で表示し、また何度でも再生可能な媒体として用意することは、学生が何度でも練習できる場を提供することとなり、STMを再生しながら復習することを可能にする。いずれ

は臨床家の技術、海外の施術者の技術をデータ化したアーカイブスを構築し、ファイルにてやりとりすることを可能にしたいという提案である。

**日鍼教では吉田流あん摩、東京盲学校式あん摩の施術データの比較も行われた。**

日鍼教ではあん摩施術の比較検討についてもマッサージスコア®を用いた検証が行われた。吉田流あん摩は吉田久庵が江戸期に開いた流派で、晴眼あん摩の代表として知られている。東京医療福祉専門学校で伝統的に教えられている吉田流あん摩と、かつて芹澤勝助先生が構築した東京盲学校方式のあん摩手技の特定部位における母指揉捏手技の比較検討のため、弊社では事前に東京医療福祉専門学校の大内晃一先生、筑波大学付属東京盲学校校長の長尾榮一先生の施術データを取得し、その特長をマッサージスコア®にて再生しながら検討する報告を行った。

あん摩施術では揉捏手技の基本刺激となる母指の面圧データだけでなく、支える位置で圧をかける把握圧を考慮することが重要である。長尾手技においては、把握圧が認められ、大内手技では出来るだけ母指の揉捏面圧を中心に、把握をしないという方法論がそのままデータ再生により会場の参加講師に披露された。

**湯河原、神奈川衛生学園における講義でもDVD「マッサージスコア®で学ぶオイルマッサージ」を用いたより実践的講義を展開。**

(社)神奈川県鍼灸マッサージ師会傘下の湯河原鍼灸マッサージ師会学術講習会、並びに神奈川衛生学園専門学校課外講座「アロマテラピー」においても弊社代表の長谷川尚哉が講師を務め、DVD資料を元にした臨床現場での手技を講習参加者へ披露した。

オイルマッサージでは一手技で行われる刺激部位が幅広く、その中で面圧の調整を行う必要がある。また見ただけではわからない把握部、支え手の面圧も重要な要素を占める。マッサージスコア®を用いた講習が受講者にとってより反復練習の必要性を訴える上で有益である。今後、様々な学術講習会などで実施する予定だ。

### DVD「マッサージスコア®で学ぶオイルマッサージ」



マッサージスコア®を用いた初のDVDが好評です。お求めは弊社サイト、Amazon.com、3Bサイエンティフィック、たにぐち書店、(株)ヒューマンワールドにてお買い求め頂けます。(医学関連書店でのお取り扱いもはじまっています。ご注文は全国の医学書店などでもお申し込みください。)

### 製品のお問い合わせ・デモンストレーション依頼は...



株式会社ソクラール・テクノス

〒255-0001

神奈川県中郡大磯町高麗3-1-11 大磯治療院内

電話/FAX 0463-36-5528 (火曜休)

<http://massagescore.info>

[oisoarom@mh.scn-net.ne.jp](mailto:oisoarom@mh.scn-net.ne.jp)

学術講習会の依頼もお受けしております。

- アロマテラピー精油概論、各論
  - マッサージ実技（フルボディ、フェイシャル、デコルテ）あん摩実技
  - 吸角療法、
  - 統合医療領域における徒手療法の歴史
- お気軽にお問い合わせください。